

## 第5学年 図画工作科学習指導案

は組 男子 19 名 女子 19 名 計 38 名

指導者 濱 崎 昇 平

### 1 題 材 夢をつめこんで

### 2 題材について

#### (1) 題材の位置とねらい

本題材は、自分の行ってみたい夢の世界を想像し、形や色を工夫しながらつくった部品をペットボトルの中に組み合わせて表現する題材である。

この期の子どもたちは、空想の世界に思いをめぐらせ、自分なりの思いを表現することに意欲的であり、いろいろな材料に進んでかかわる楽しさを味わってきている。そして、表現したいもののアイデアスケッチをかいいたり、構想を練ったりして、見通しをもち表現することができるようになってきている。さらに、巧緻性の高まりも見られ、自分の思いに合わせて細かいものをつくる技能も身についてきている。また、友達の発想を取り入れたり、教え合ったりしながら自分の表現に生かす姿も見られる。

そこで、ペットボトルの中に、夢の世界を表現していくことは、自分の思いに合わせて形や色を工夫しながら自分だけの世界を表すことができるため、楽しい世界を表現したいという意欲を高めることができる。また、ペットボトルの中という限られた空間の中に表現することは、見通しをもって構想を練ったり、技能を生かして大きさや形を工夫して表現したりしていくことにつながり、つくりだす力を伸ばしていくことになる。そして、表現活動の途中でもお互いの作品を鑑賞し合い、形や色の工夫に気付いたり、材料の組み合わせ方のよさに気付いたりすることで感じ取る力を伸ばしていくことになる。さらに、自分の思いに合った形や色になるように、材料を加工したり、化学接着剤等の用具を適切に扱ったりすることで、知識・理解、技能を高めていくことができる。

このように、自分なりの発想を基に、表現の仕方を練りながら、いろいろな材料を使って表現していく活動は、第5学年の「夢を映して」で、自分の行ってみたい夢の世界を想像し、厚紙を切り取ってつくった切り絵にカラーセロハンを貼り、光の効果を生かして表現する活動へと発展していく。

#### (2) 指導の基本的な立場

本題材で扱うペットボトルは、透明度が高く、多方向から見て表現や鑑賞を楽しむことができる。また、自分のつくった部品をペットボトルの中の空間に試行錯誤しながら構成する楽しさがある。さらに、大きさの制限があるため、材料の形や大きさを工夫して、ペットボトルと部品との組み合わせを練りながら、計画的に表現をする楽しさがある。そのため、子どもたちは、ペットボトルの特徴を生かしながら、楽しい夢の世界を表現したいという意欲をもつことができる。

具体的には、まず、夢をもってつくることの大切さを感じ取らせるために、参考作品を鑑賞させる。そして、活動全体の見通しをもたせるために、学習計画を子ども主導で立てさせる。さらに、完成した作品のイメージをもたせるために、アイデアスケッチをかかせたり、アイデアスケッチを鑑賞させたりし、部品の形や大きさを考えさせる。

次に、自分の思いに合わせて表現するために、様々な材料に触れる場を設定し、材料の特徴をとらえ、自分の表現に生かすようにさせる。その際、自然に友達の作品を鑑賞し、よさを感じたり、アドバイスをし合ったりするようにする。

さらに、終末では、自分の表したい夢の世界になるように、自分の作品への思いを振り返らせたり、中間鑑賞で感じた友達のよさやアドバイスを基に、さらに工夫することを考えさせたりし、最後まで自分の思いに合わせて表現させる。

このような学習を通して、子どもたちは活動の見通しをもって（計画性の向上）取り組み、試行錯誤したり（責任感の高揚）、友達とよりよい表現について話し合ったり（協調性の向上）しながら、自分自身の表現のよさを感じたりすることができると思う。（自己肯定感の醸成）

### (3) 子どもの実態

本学級の子どもたちは、これまでの経験を通してほとんどの子どもたちが図画工作が好きである。しかし、「好きではない」と答えた子どもが2名いる。(※1) その理由として、「想像したこ

実態調査 5年は組38名 (4月中旬実施)

- 1 図工は好きですか。  
好き(36名) 好きではない(2名)※1  
(好きではない理由)  
・頭では想像するけどつukれない。  
・材料を扱うことが苦手
- 2 小さい部品を組み合わせてジオラマのように立体的に表現することに興味・関心があるか。  
はい(34名) いいえ(4名)※2  
(好きではない理由)  
・どのように表現すればいいかわからない。  
・難しそう
- 3 ペットボトルの中に夢の世界を表現するときに、どのような材料で何をつくるか思い浮かぶか。  
はい(33名) いいえ(5名)※3
- 4 作品を鑑賞し合うことのよさを感じているか。  
感じている(26名) 感じていない(12名)※4  
(感じていない理由)  
・自分の作品に自信がないから  
・自分の作品を見せるのが恥ずかしいから
- 5 決まった大きさの穴(直径3cm)を通るような人を粘土でつukれることについて(実技)  
つukれる(25名) つukれない(13名)※5

とがうまくつukれない」「材料を扱うことが苦手」ということが挙げられる。つukりたいものはイメージできていても、技能的な面で課題があり、表現することに苦手意識をもっていることが考えられる。そこで、つukり方の手順や、材料や用具の使い方について確認をしてから表現させる。小さい部品を組み合わせて立体的に表現することについては、4名の子どもが興味・関心がないと答えている。(※2) 仕組みやつukり方が分からず、抵抗感を感じていることが原因だと考えられる。そこで、参考作品を鑑賞するときに、工夫していることやつukり方について話し合わせたりすることで、表現することに興味・関心をもたせる。どのような材料を用いて表現するかを具体的にイメージすることについて、5名の子どもができなかった。(※3) 様々な材料を使う経験が少なかったり、特性や使い方についての知識が足りなかったりすることが考えられる。そこで、様々な材料に触れ、特性について話し合わせる場を設定し、自分の表現に生かすようにさせる。鑑賞活動に

については、12名の子どもがよさを感じていない。(※4) 友達のアドバイスを基に自分の作品を見直し、よりよい表現にしていく経験が少なかったことが原因だと考える。そこで、鑑賞活動において、友達の作品のよさやアドバイスを交流する場を設定し、互いの表現のよさに気付かせ、自分の表現に生かすようにさせる。粘土で、大きさを考えて表現することについて、13名の子どもが、つukることができなかった。(※5) つukる前や途中の過程で大きさの見通しをもって表現する意識が足りなかったことが原因だと考える。そこで、材料に関わらせながら、どのような大きさや形で表現するかを考えさせる場を設定し、活動の見通しをもつようにさせる。

### (4) 指導上の留意点

ア「思いをもつ・見通す」段階では、まず、夢の世界を表現することに進んで取り組めるようにするために(参加)、参考作品を大きなスクリーンに映し出し、思いを基に工夫してあるところや、材料の特性について話し合わせる。そして、完成のイメージをもって表現できるように(見通し)、つukり方の手順について話し合わせ、自分の表したい思いを基にアイデアスケッチをかかせる。さらに、自分の思いに合わせた表現ができるように(多面・総合、関連)、「見るポイント」に沿ってアイデアスケッチを見直す場を設定し、材料やつukり方などの見通しをもたせる。

イ「思いを表現する」段階では、他者と協力しながら活動に取り組めるようにするために(協力・コミュニケーション)、うまくできないところを友達と話し合っ解決する場を設定し、表現に生かすようにさせる。そして、大きさの見通しをもって表現させるために(見通す)、様々な材料に関わらせながら、大きさや形を考えさせるようにする。さらに、用具の適切な使い方について理解できるように、化学接着剤の使い方を示した資料を貼り、いつでも振り返ることができるようにする。

ウ「思いを味わう」段階では、作品や材料、他者とのつながりを感じるようにするために(つながり)、終末の鑑賞において、自分や友達の思いと作品の形や色などを照らし合わせながら鑑賞し、よさを伝え合う場を設定し、互いのよさを認め合えるようにする。

### 3 目 標

- (1) 自分が行ってみたい夢の世界を楽しく想像し、材料の形や色などを工夫しながら進んで表現することができる。
- (2) ○ 様々な材料の形や色などの特徴を生かして発想したり、表したい思いに合わせて部品の組み合わせを考えたりしながら表現することができる。  
○ 形や色、イメージなどを基に鑑賞活動を行い、お互いの発想のよさに気づき、自分の表現をより豊かにすることができる。
- (3) 表したい夢の世界に合った形や色になるように、化学接着剤等の用具を適切に用いたり、見通しをもって加工したりすることができる。

### 4 指導計画 (全 8 時間)

| 過程        | 主 な 学 習 活 動                                                                                                                                | 時間               | 教師の具体的な働きかけ                                                                                                                                                                                                                                          |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 思いをもつ・見通す | 1 行ってみたい夢の世界を、ペットボトルの中に表すことについて話し合う。<br>2 題材のめあてについて話し合う。<br>自分の行ってみたい夢の世界を、形や色などを工夫しながらペットボトルの中に表そう。                                      | 1                | ○ ペットボトルの中に、夢の世界を表現することへの意欲を高めるために(参加)、参考作品を鑑賞させ、作者の表したい思いや工夫などに注目させる。そして、「自分ならどんな夢の世界に行ってみたいか。」と問い、自由な発想を引き出す。<br>○ 題材の特性に気付かせるために(多面・総合)、「ペットボトルのよさは何だろう。」と問い、ペットボトルの特徴について考えさせる。                                                                  |
|           | 3 学習計画を立てる。<br>アイデアスケッチの見直しを入れたら、後で失敗することが少なくなると思うよ。                                                                                       | 1                | ○ 題材全体の見通しをもたせるために(見通す)、学習計画を立てるときに、「どのような活動を入れれば、夢の世界を表現できそうか。」と問い、子ども自身に計画を立てさせる。                                                                                                                                                                  |
| 思いを表現する   | 4 表したい夢の世界を考える。<br>(1) アイデアスケッチをする。<br>宇宙で友達と野球をしているところを表現しよう。<br>(2) 必要な材料について考える。<br>宇宙だから、星を紙粘土でたくさんつくろう。周りを暗めのカラーセロファンで覆うと宇宙らしさが出そうだな。 | 6<br>(本時<br>6/8) | ○ 自分のつくりたい夢の世界や、必要な材料、用具について考えさせるために(関連・多面・総合)、アイデアスケッチをさせ、思いを表すための材料を記入させる。<br>○ アイデアスケッチに自分の思いを表すことができるように(関連・見通す)、自分の工夫したところや友達がさらに工夫すればよいと思うところを、見るポイントを基に話し合わせる。<br>○ 自分の思いに合った土台や部品を表現することができるように(関連・見通す)、様々な材料に触れながら、特徴について話し合わせ、表現の見通しをもたせる。 |
|           | 5 表したい夢の世界を表現する。<br>(1) 土台をつくる。<br>(2) 部品をつくり、組み合わせる。<br>紙粘土でつくった友達やばくをふたの部分に糸で吊り下げて、宇宙で楽しく浮かんでいる様子を表現しよう。                                 | 6<br>(本時<br>6/8) | ○ 自分の思いに合わせて、部品を組み合わせるために(関連)、参考作品を基に見るポイントを焦点化し、それを基に、組み合わせるようにする。<br>○ より自分の思いに合わせて表現をすることができるように(協力・多面・総合)、友達と自由に話し合って課題を解決したり、友達の作品を見て自分の作品に生かしたりするようにする。                                                                                        |
| 思いを味わう    | 6 お互いの作品の発想や表現のよさを認め合う。<br>題材がとても素敵な作品に変わったな。<br>友達からアドバイスをもらったり、工夫するところを話し合ったりすることで、楽しい夢の世界を表現することができたな。                                  | 1                | ○ 接着剤を適切に使わせるために(多面・総合)、用具の使い方についての掲示資料を貼り、振り返りながら表現できるようにする。<br>○ 発想がうまくいかない子どもには(関連)、自分の表したい思いを振り返らせ、「どのようなものがあれば思いに近づけるか。」と問い、具体的な発想を促す。<br>○ さらに発想を広げながら表現の工夫をし続けるために(多面・総合)、自分なりの発想や表現の工夫をしている友達を全体で紹介し、友達のよさを自分の表現に生かそうとすることができる。              |
|           |                                                                                                                                            | 1                | ○ 自分や友達の表現のよさを感じ取ることができるように(つながり・コミュニケーション)、見るポイントを基に鑑賞させ、お互いの発想や表現のよさを認め合えるようにする。                                                                                                                                                                   |

## 5 本 時 ( 6 / 8 )

### (1) 目 標

自分が行ってみたい夢の世界を表現することに興味をもち、進んで表現に取り組むことを通して、部品と土台の組み合わせ方を考えながら自分の思いに合わせて表現することができる。

### (2) 本時の指導に当たって

導入では、活動の見通しをもたせるために（見通す）、参考作品等を基に、本時で大切な見るポイントについて考えさせ、クラスで共有できるめあてを立てさせる。展開では、自分の思いに合った作品になるように（多面・総合、関連、見通す）、見るポイントを基に部品と土台の組み合わせ方を工夫させる。

### (3) 実 際

| 過程        | 主 な 学 習 活 動                                                                                                                                                                                                                                                                        | 時間                  | 教師の具体的な働きかけ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 思いをもつ・見通す |  <p>今日は、つくった部品をペットボトルの中に組み合わせてみたいな。</p> <p>1 参考作品を鑑賞し、感じたことを話し合う。</p> <p>【見るポイント】<br/>○奥行き ○重なり ○間隔 ○高さ</p> <p>2 学習のめあてについて話し合う。</p> <p>自分の思いが表れるように、部品と土台を組み合わせよう。</p>                           | (分)<br>↑<br>10<br>↓ | <p>○ 前時までの学習を振り返り、本時で学習することに意欲的に取り組ませるために（参加）、学習計画と本時の位置を確認し、本時では部品を組み合わせることを意識させる。</p> <p>○ 夢の世界を表現することに意欲的に取り組ませるために（参加）、参考作品等を大きなスクリーンに映し出し、細部まで鑑賞させ、工夫していることや感じたことを話し合わせる。また、見つけた組み合わせ方の工夫を本時の見るポイントとしてまとめる。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|           | <p>3 部品の組み合わせ方を考える。</p> <p>【部品を試しに置く】</p> <p>↓</p> <p>【奥行き】 手前に配置するか奥に配置するか。<br/>【重なり】 物と物との重なりをどうしようか。<br/>【間隔】 部品と部品との間隔はどれくらいがいいか。<br/>【高さ】 上に吊すか地面に配置するか。</p>                                                                                                                  | ↑<br>22<br>↓        | <p>○ 本時の学習の見通しをもたせるために（見通す）、学習計画を基に自分の進み具合を確認し、本時のめあてを考えさせる。</p> <p>○ 見通しをもちペットボトルの中に部品を組み合わせるために（関連、見通す）、見るポイントを基に部品の配置を考えさせる。その際、「その部品をどこに配置したら、自分の表したい夢の世界が表現できるかな。」と問い、見るポイントと思いを関連付けるようにさせる。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|           | <p>4 部品をペットボトルの中に組み合わせる。</p> <p>【奥行き】 【重なり】 【間隔】 【高さ】</p> <p>【関連】 仲良しの様子を表したいから、男の子と犬は、隣に配置した方がいいかな。<br/>【多面・総合】 前に学習したことを生かして、山を近景に配置したら、人がより遠くに感じるかな。<br/>【コミュニケーション】 友達が、長さが違う糸を用意して、高さを変えて雲を吊すことで、楽しい感じになると教えてくれたな。</p> <p>↓</p> <p>【見通す】 この【奥行き】【重なり】【間隔】【高さ】で部品を組み合わせよう。</p> | ↑<br>8<br>↓         | <p>○ 接着剤を適切に使わせるために（多面・総合）、用具の使い方についての掲示資料を貼り、振り返りながら表現できるようにする。</p> <p>○ より自分の表したい思いに近づくことができるようにするために（コミュニケーション、多面・総合）、友達とアドバイスの交換をしたり、自由に鑑賞したりするように促し、友達の表現のよいところに気付かせる。</p> <p>○ 発想ができない子どもには（関連、見通す）、「この部品は重なった方がいいかな。離れた方がいいかな。」と問い、見るポイントに注目させながら配置するようにさせる。</p> <p>○ 思いに合わせて表現できるようにするために（関連、多面・総合）、部品の見直しをしたり、必要な部品を追加でつくろうとしたりしている子どもを価値付け、思いに合わせてねばり強く表現し続けることのよさに気付かせる。</p> <p>○ お互いの表現のよさを認め合えるようにするために（コミュニケーション）、見るポイントに沿って友達の作品を鑑賞させる。</p> <p>○ 表現できた喜びを感じ取ることができるようにするために（つながり）、見るポイントを基にワークシートに、本時の振り返りを記入させ、発表させる。そして、本時の価値付けを行う。</p> |
| 思いを表現する   |                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 思いを味わう    |                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |